

熊本市

崇城大

熊本ネクストソサエティ

農産物販路拡大へ連携



「フードバンクインデックス」の構築を目指し、連携協定を締結した大西一史市長(左)と崇城大の中山峰男学長(中央)、熊本ネクストソサエティの山戸タケル社長＝熊本市役所

熊本市と崇城大、システム開発の熊本ネクストソサエティ(同市)は26日、県産農産物の販路拡大を図る連携協定を結んだ。生産者と消費者をインターネットでつなぐシステム「フードバンクインデックス」の構築を目指す。

同システムは生産者と流通業者、消費者の情報を集約し、データベース化。それぞれのニーズを満たす取引につなげる。市によると、産学官が連携する同様

のシステムは国内で珍しいという。

市が農産物を紹介するサイト「熊本市産品事典」を活用。食に関する情報を扱う同社は商社のような役割を担い、全国の百貨店やスーパー、飲食店のニーズに合う農産物を紹介する。崇城大は核となる基本システムを研究、開発する。

市役所で締結式があり、大西一史市長と中山峰男学長、山戸タケル社長が協定書に署名。「消費者が望むものを生産者に届けることで、多くの農産物の販路拡大につなげた」と話した。

(酒森希)